



埼玉県のマスコット コバトン

埼玉県 獣医師会 会報

第 623 号

平成27年 9 月20日編集

発 行 所
公益社団法人 埼玉県獣医師会
〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340
(埼玉県農業共済会館内)
電 話 048(645) 1 9 0 6
F A X 048(648) 1 8 6 5
E-mail : s-vma@vesta.ocn.ne.jp
URL : <http://www.saitama-vma.org/>
振替口座 00110 - 9 - 195954番

発行責任者 高 橋 三 男
編集責任者 大 橋 邦 啓
印 刷 所 (株)アサヒコミュニケーションズ

記 事 の 内 容

平成27年度「関東・東京合同地区獣医師大会
(横浜)、獣医学術関東・東京合同地区学会」
の開催…………… 1
動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令
の施行等について…………… 7

予告

南第一支部・南第二支部合同学術講習会の
お知らせ…………… 8
東支部学術講習会のお知らせ…………… 8
西支部学術講習会のお知らせ…………… 9

ひろば

埼玉県獣医師会会長 埼玉県知事を
表敬訪問…………… 10
新入会員の抱負…………… 11
北支部研修会及び八日会解散の集い
開催報告…………… 12
平成27年度関東・東京合同地区獣医師会
親善チャリティーゴルフ大会結果報告 …… 12

お知らせ

第 3 回日本医師会・日本獣医師会による
連携シンポジウム「越境性感染症の現状と
課題」の開催のご案内 …… 13
獣医師生涯研修事業の申告方法変更の
お知らせ…………… 15
日本獣医麻酔外科学会関東地区講習会
開催のお知らせ…………… 16
「彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2015」
開催のお知らせ…………… 17

切り抜きニュース

○危険な病原体 扱い可能に
－ BSL 4、エボラきっかけ－ …… 18
○搾乳ロボ 8 台 ハイテク牛舎 …… 19
○補助犬 障害者に同伴 理解を …… 19

埼玉県獣医師会学術広報版 …… 20

事務局より

事務局メモ…………… 21

編集後記…………… 22

公益社団法人 埼玉県獣医師会 会員憲章

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は、それぞれの職域において、その責務を遂行し、県民の福祉増進に寄与するため、ここに会員憲章を定めます。

わたくしたち埼玉県獣医師会会員は

1. 動物の生命を守り、ひとびとの生活を豊かにしよう
1. 獣医学術を研鑽向上し、確信を持って業務に邁進しよう
1. 動物愛護思想を向上し、心豊かな生活をしよう
1. 環境衛生を向上し、福祉増進の実をあげよう
1. 職域を尊重し、倫理の昂揚をはかろう

平成27年度

「関東・東京合同地区獣医師大会（横浜）、獣医学術関東・東京合同地区学会」の開催

平成27年9月13日(日)、神奈川県横浜市の「パシフィコ横浜会議センター」において平成27年度関東・東京合同地区獣医師大会・三学会が盛大に開催されました。

厳しい暑さも漸く和らぎ、会場には900名を超える多くの関東・東京地区獣医師会関係者が集い、地区獣医師大会、獣医学術発表、医師会と獣医師会との連携市民公開講座、動物用医薬品・機器等の展示が行われました。

獣医学術地区学会では、本会会員の学術発表が学術奨励賞を受賞いたしました。



大会・学会を終え交流会に参加した埼玉県獣医師会会員の皆様

前列左から 北村直人日本獣医師会顧問、井上亮一大会会長（横浜市獣医師会会長）、境政人日本獣医師会専務理事、高井健先生（団体支部）、高橋三男会長、藏内勇夫日本獣医師会会長、学術奨励賞を受賞した金野敏明先生（団体支部）、黒崎嘉子先生（衛生支部）、梅澤正親先生（農林支部）、小暮一雄副会長、山岸郭郎先生（団体支部）
後列左から 山根康義理事（団体支部）、中村滋副会長、林繁雄理事、灰井康佑先生（団体支部）、宗像俊太郎先生（南第一支部）、大橋邦啓理事（北支部）、諸角元二小動物獣医学会幹事・審査員・座長（東支部）、鴻巣泰産業動物獣医学会幹事・座長（農林支部）、時田敏夫先生（西支部）、斎藤章暢獣医公衆衛生学会幹事・座長（衛生支部）、武末寛子先生（農林支部）、北島絵里子先生（農林支部）、須賀幸司理事（農林支部）、斉藤守弘先生（衛生支部）、小林精一郎支部長（衛生支部）

平成27年度関東・東京合同地区獣医師大会

地区獣医師大会は、午後1時から5階「503室」において開催されました。

横浜市獣医師会の池西正行副会長の開会宣言に続き、物故会員に対する黙祷、「獣医師の誓い－95年宣言」の朗読の後、井上亮一大会会長（横浜市獣医師会会長）から歓迎と御礼の挨拶がありました。



大会で挨拶をする井上亮一大会会長（横浜市獣医師会会長）

向かって右側が国の関係省庁などの来賓や三学会の会長、副会長の方々、左側が日本獣医師会会長や大会を主催した各獣医師会会長ら

続いて表彰式に移り、関東地区獣医師会連合会表彰規程に基づき、特別功労者2名と獣医事功績者65名が表彰されました。

出席した受賞者が紹介され、受賞者を代表して横浜市獣医師会の加藤一則先生が、大会会長から表彰状の交付を受けるとともに謝辞を述べました。

受賞の栄に輝かれた本県会員の先生方は次の7名の皆様です。今後とも益々の御活躍を御祈念申し上げます。

獣医事功績者表彰を受賞された埼玉県獣医師会の先生方（支部順）



横山なすか 先生
（さいたま市支部）



植原利志子 先生
（南第一支部）



時田敏夫 先生
（西支部）



野口純子 先生
（北支部）



玉村伯時 先生
（東支部）



黒崎嘉子 先生
（衛生支部）



梅澤正親 先生
（農林支部）

祝辞は、御来賓の農林水産省消費安全局長（代理 畜水産安全管理課課長補佐 大石明子様）、厚生労働省医薬食品局長（代理 食品安全部監視安全課食中毒被害情報管理室長 梅田浩史様）、環境省自然環境局長（代理 関東地方環境事務所野生生物課長 荒牧まりさ様）、横浜市長（代理 副市長 柏崎 誠様）、日本獣医師会会長 藏内勇夫様の皆様から頂き、また、三学会の学会長、副学会長の方々が紹介されました。

続いて、議長に井上亮一大会会長を選出し、議事に入りました。昨年度の大会を担当した山梨県獣医師会

の笠松豊乗会長が平成26年度事業についての経過を報告した後、第1号から第6号の議案が一括上程され、全ての議案が原案のとおり決議されました。これらは、直ちに大会宣言として採択されるとともに、会場に大会スローガンとして掲げられ、その早期実現に会員が邁進していくことを誓い合いました。

平成27年度関東・東京合同地区獣医師大会宣言

- 1 高齢者の伴侶動物の飼育率向上と飼育支援の推進を図る
- 2 動物を介した児童等の情操教育の拡充・強化を図る
- 3 災害時の動物救護対応の充実・強化及び飼い主への周知を図る
- 4 社会的ニーズに応え得る「良質かつ高度な獣医療供給体制」の確立を図る
- 5 卒後教育のための研修病院の充実を推進する
- 6 女性獣医師が生涯、活躍できる環境づくりを進める

平成27年度関東・東京合同地区獣医師大会スローガン

- 1 高齢者の伴侶動物の飼育率向上と飼育支援を推進しよう
- 2 動物を介した児童等の情操教育の拡充・強化を図ろう
- 3 災害時の動物救護対応の充実・強化及び飼い主への周知を図ろう
- 4 社会的ニーズに応え得る「良質かつ高度な獣医療供給体制」を確立しよう
- 5 卒後教育のための研修病院の充実を推進しよう
- 6 女性獣医師が生涯、活躍できる環境づくりを進めよう

終わりにあたり、平成28年度の開催を担当する川崎市獣医師会の竹原秀行会長が挨拶に立ち、開催日程等を紹介して、大会は午後2時に閉会となりました。

平成28年度関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術関東・東京
合同地区学会(川崎)の開催日程

月 日	平成28年 9月11日(日)
会 場	ホテル K S P 川崎市高津区坂戸3-2-1 電話 044-819-2211

医師会と獣医師会との連携市民公開講座

一般市民を対象とした医師会と獣医師会との連携市民公開講座は、午後2時15分から5階「503室」において開催されました。

演 題 動物が介在する感染症の話題
～医師からのアドバイス～

講 師 公立大学法人 横浜市立大学附属市民総合医療センター
感染制御部部长 築地 淳 先生

平成27年度獣医学術関東・東京合同地区学会

日本産業動物獣医学会、日本小動物獣医学会、日本獣医公衆衛生学会の関東・東京合同地区学会は、学会ごとの会場（産業動物獣医学会および小動物獣医学会はそれぞれ2会場）に分かれて午前10時から学術発表が行われました。

各会場では地区学会長の挨拶の後、昼食と獣医師大会を挟み、午後4時まで80題の研究発表が行われ、本県からは産業動物獣医学会3題、小動物獣医学会4題、獣医公衆衛生学会2題、計9題が発表されました。（別掲）

審査員や座長を務められた地区学会幹事の先生方

産業動物獣医学会



鴻巣 泰先生
(農林支部)

小動物獣医学会



諸角元二先生
(東支部)

獣医公衆衛生学会



斎藤章暢先生
(衛生支部)

地区学会優秀発表者表彰・交流会

各学会の発表終了後、午後5時15分から5階「503室」において優秀発表者の表彰式並びに交流会が開催されました。

まず、大会会長の井上亮一横浜市獣医師会会長が、多くの会員参加の下で大会・学会を盛会裡のうちに終了することができたと感謝の言葉を述べられました。次に、このたびの水害で被害の大きかった茨城県獣医師会の小林貞雄会長から常総市の被害状況等についてご報告がありました。そして、藏内勇夫日本獣医師会会長と北村直人日本獣医師会顧問の挨拶の後、各地区学会長から、地区学会長賞と学術奨励賞の発表が行われるとともに、賞状の授与が行われました。

最優秀となる地区学会長賞には、多くの発表の中から産業動物学会2題、小動物獣医学会2題、獣医公衆衛生学会1題が選定されましたが、残念ながら本年は本県からの入選は叶いませんでした。

また、学術奨励賞は、産業動物学会2題、小動物獣医学会3題、獣医公衆衛生学会1題が選定され、小動物獣医学会で金野敏明先生(団体支部)が受賞しました。

表彰式に続く交流会は、次回開催予定の竹原秀行川崎市獣医師会会長の乾杯の音頭で懇親に入り、参加した約250名の会員は和やかな雰囲気の中、交流を深めておりました。

お忙しい中、発表いただいた先生方には大変お疲れ様でした。また、レベルの高い発表の中から選ばれ受賞された発表者並びに共同研究者の皆様には誠におめでとうございます。

なお、来年2月26日(金)から28日(日)には秋田市で日本獣医師会獣医学術学会年次大会が開催されますので、多くの皆様の御参加をお待ちしております。

平成27年度関東・東京合同地区獣医師大会、獣医学術合同地区学会の参加者(埼玉県獣医師会)

支部名	開業支部	衛生支部	農林支部	団体支部	事務局	合計
参加者数	26人	5人	7人	9人	4人	51人

平成27年度獣医学術関東・東京合同地区学会 発表演題

∞∞∞日本産業動物獣医学会(関東・東京)∞∞∞

白井淳資地区学会長(東京農工大学農学部教授)のもとで28題の発表がありました。
本県からの発表は次の3題です。

演題名：展示施設で発生したシラコバトの *Yersinia pseudotuberculosis* 感染症
発表者：北島絵理子 (埼玉県中央家畜保健衛生所)

演題名：埼玉県初の豚流行性下痢の発生とその防疫対応
発表者：武末寛子 (埼玉県熊谷家畜保健衛生所)

演題名：発情発見を行わない繁殖管理の一例
発表者：高井 健 (株式会社COWOX)

産業動物獣医学会での発表者



北島絵理子先生
(農林支部)



武末寛子先生
(農林支部)



高井 健先生
(団体支部)

∞∞∞日本小動物獣医学会(関東・東京)∞∞∞

亘 敏広地区学会長(日本大学生物資源科学部教授)のもとで34題の発表がありました。
本県からの発表は次の4題で、金野敏明先生が学術奨励賞を受賞しました。

演題名：耳道内に中心性骨化を伴う炎症性ポリープ様結節が生じたパグの2例
発表者：今井昭宏 ほか(どうぶつの総合病院)

演題名：膀胱尾側に発生した神経内分泌腫瘍の犬の一例
発表者：北宮絵里 ほか(あさか台動物病院)

演題名：腹腔内に多発する異所性脾臓を認めた犬の一例
発表者：金野敏明 ほか(どうぶつの総合病院)

演題名：脾臓摘出および腹腔内睾丸摘出手術後に病理組織検査にて脾臓の髄外造血とセルトリ細胞腫と診断された犬の一例
発表者：山下啓吾 ほか(麻の葉動物病院)

小動物獣医学会での発表者



今井昭宏先生
(団体支部)



北宮絵里先生
(団体支部)



金野敏明先生
(団体支部)



山下啓吾先生
(東支部)

∞∞∞日本獣医公衆衛生学会(関東・東京)∞∞∞

山本茂貴地区学会長(東海大学海洋学部教授)のもとで18題の発表がありました。
本県からの発表は次の2題です。

演題名：人畜共通寄生虫猫及び犬回虫の待機動物鶏からのヒトへの感染リスクと予防法の確立
発表者：斉藤 守弘 ほか(埼玉県食肉衛生検査センター)

演題名：食中毒病因物質 Sarcocystis15kDa タンパク質による下痢のメカニズム・腫瘍壊死因子
TNF α との関係
発表者：斉藤 守弘 ほか(埼玉県食肉衛生検査センター)

獣医公衆衛生学会での発表者



斉藤守弘先生
(衛生支部)

学術奨励賞受賞発表の紹介

腹腔内に多発する異所性脾臓を認めた犬の一例



学術奨励賞を受賞した金野敏明先生 (団体支部)



前列、左から2人目が金野敏明先生

I. はじめに

異所性脾臓とは、本来の脾臓とは異なる場所に存在する組織学的に正常な脾臓組織である。犬ではまれに先天性奇形(副脾)として認めるが、人では脾臓損傷後に後天性にも発生する。今回、犬の腹腔内に多発した後天性と思われる異所性脾臓を経験したので報告する。

II. 症例

症例は、ミニチュアダックスフンド、10歳齢、去勢雄、2013年に近医にて脾臓の結節性病変を認め脾臓摘出手術を実施、病理組織学的検査は結節性過形成であった。2015年5月に健診時の超音波検査にて肝臓付近に結節性病変を認め、精査目的にて当院総合診療科に紹介受診となった。一般状態は良好で、血液検査に著変は認められなかった。腹部超音波検査で肝臓方形葉付近に結節性病変を認め、経皮的針穿刺吸引生検を実施。細胞診では異型性に乏しい非上皮系細胞を少数認め、肝細胞は採取されなかった。腹部CT検査では、肝臓頭側に6.9×4.4×4.8cm大、十二指腸漿膜面に直径2.0cm大、腹壁に直径0.2～1.5cm大の結節性病変を認めた。肝臓頭側の結節性病変は肝実質と境界が比較的明瞭であり、肝実質圧迫され変位していた。悪性腫瘍の腹腔内播種を疑い確定診断を目的として試験開腹にて生検を実施した。結節性病変はそれぞれ、肝臓、十二指腸、腹壁の漿膜面より発生し、固着性は低く、漿膜切除で容易に摘出された。病理組織学的検査では、いずれの部位も正常な脾臓組織の構成成分が認められたため、異所性脾臓と診断された。腫瘍を示唆する所見は認められなかった。

III. 考察

後天性異所性脾臓は、脾臓の外傷や摘出手術の後に腹腔内に残存した脾臓組織から発生する。人では脾臓損傷後の65%において異所性脾臓が発生するとの報告がある。しかしながら、演者らの知る限り小動物における異所性脾臓の報告は極めて乏しい。本症例は2013年に脾臓の摘出手術をしており、脾臓に発生した結節性病変の自壊、あるいは切除時に脾臓組織が腹腔内に散布され、定着したと考えた。本症例のような多発性の異所性脾臓は悪性腫瘍の腹腔内播種と類似した所見を示し、術前の画像診断や細胞診によって診断を下すことは困難であった。過去に脾臓破裂を起こした可能性のある症例では、鑑別診断の一つとして異所性脾臓を考慮する必要がある。

27日獣発第141号
平成27年8月25日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令の施行等について

このことについて、平成27年8月14日付け27消安第2642号をもって、農林水産省消費・安全局長から別添のとおり通知がありました。

このたびの通知は、動物用医薬品登録販売者試験の廃止と同試験の人体用医薬品登録販売者試験への一本化、店舗管理者等の実務・業務経験の要件の設定等の見直しを内容とする「動物用医薬品等取締規則の一部を改正する省令(平成27年農林水産省令第68号)」の公布及び施行とともに、関係通知について次の事項を改正した旨情報を提供するものです。

- ①「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律関係事務に係る技術的助言について(平成12年3月31日付け12畜A第728号農林水産省畜産局長通知)」
- ②「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律関係事務の取扱いについて(平成12年3月31日付け12畜A第729号農林水産省畜産局長通知)」

※詳細(別添含む)については、日本獣医師会ホームページ(新着情報)をご覧ください。

予 告

南第一支部・南第二支部合同学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(4)・小3(7))

南第一支部長 田中 裕

南第二支部長 長澤 泰保

南第一・第二支部では、11月3日(火・祝)に合同学術講習会を開催します。

講師の先生は、日本小動物医療センター 総合診療科・消化器科の中島亘先生をお招き致します。テーマは「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療・予後(1)」です。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

日 時 平成27年11月3日(火・祝)
14:00~17:30

場 所 川口総合文化センター「リリア」
川口市川口3-1-1
TEL 048-258-2000

演 題 「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療・予後(1)」

講 師 日本小動物医療センター 中島 亘先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円

*「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療(2)」は、会報平成27年度埼玉県獣医師会学術広報誌上にて平成28年3月21日開催予定となっておりましたが、講師の都合により平成28年7月24日(日)に変更となります。



東支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1)・小2(4))

東支部長 八木 賢裕

東支部では11月8日(日)日本大学 生物資源科学部 獣医学科 准教授 坂井 学先生をお招きして「肝・胆・膵の診断と治療」と題し学術講習会を開催いたします。診療の中でも多く遭遇する消化器疾患ですが、血液化学検査の解釈の仕方、臨床症状の有無や画像診断など総合的に組み合わせて治療対象なのか否の判断方法を講演していただきます。できるだけ多くの症例を含めてご講演いただく予定です。先生方のご参加をお待ちしています。

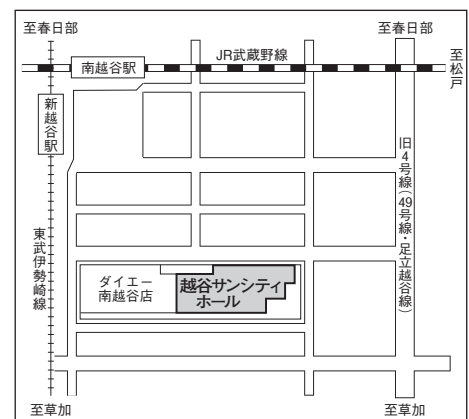
日 時 平成27年11月8日(日)
14:30~18:00頃(受付14:00~)
※講演内容、休み時間などで多少前後いたします。

場 所 越谷サンシティ
越谷市南越谷1-2876-1
TEL 048-985-1111

演 題 「肝・胆・膵の診断と治療」

講 師 日本大学 生物資源科学部 獣医学科 准教授 坂井 学先生

参 加 費 埼玉県獣医師会会員 1,000円(シラバス代、飲み物代含む)
会員以外の受講者 5,000円(シラバス代、飲み物代含む)



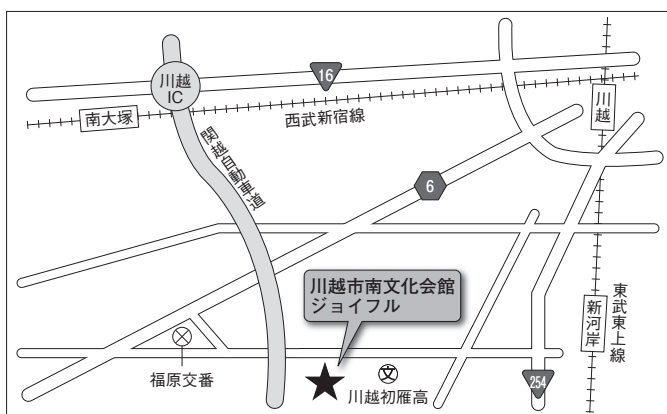
西支部学術講習会のお知らせ

(獣医師生涯研修事業ポイント対象 カリキュラム番号 小2(1))

西支部長 別部 博司

西支部では平成27年11月29日(日)に日本小動物医療センター 総合診療科 消化器科科長 中島 亘 先生をお招きして全2回「下痢・嘔吐の診療」(前半 下痢の診療)の講習を行います。多くの先生方ご参加をお待ちしております。

- 日 時** 平成27年11月29日(日)
13:30～16:30(13:00受付)
- 場 所** 川越市南文化会館 ジョイフル
川越市大字今福1295-2
TEL: 049-248-4115
- 演 題** 下痢・嘔吐の診療(前半 下痢の診療)
- 講 師** 日本小動物医療センター
中島 亘 先生
- 参加費** 埼玉県獣医師会会員 無料
会員以外の受講者 5,000円



松研の動物用生物学的製剤



こわい狂犬病から
ぼくをまもってね

■ 松研狂犬病TCワクチン

動物用医薬品

要指示医薬品

豚用ワクチン

- 松研豚丹毒生ワクチン
- ポーシリス APP-N
- ポーシリス ERY
- ポーシリス STREPSUIS
- ポーシリス Begonia DF・10
- ポーシリス Begonia DF・50

水産用ワクチン

- M/バック レンサ 注
- M/バックイニエ
- 松研M/バック IPレンサ

家畜用抗毒素

- 破傷風血清

※豚用ワクチンは要指示医薬品です。

研究開発元 一般財団法人 松岡科学研究所
製造販売元 松研薬品工業株式会社



〒184-0003 東京都小金井市緑町5丁目19番21号
TEL: (042) 381-0075 FAX: (042) 381-0344
URL: <http://www.32.ocn.ne.jp/~matsuken>
E-mail: matsuken@cf.mbn.or.jp

ひろば

埼玉県獣医師会会長 埼玉県知事を表敬訪問

平成27年9月3日、高橋三男会長は、上田清司埼玉県知事を表敬訪問し日頃の御支援に対する御礼と獣医師を取り巻く情勢などについて報告しました。

上田知事との面会は午前10時50分から行われ、高橋会長は、埼玉県獣医師会の重要事業などについて説明するとともに、事業を推進していく上での埼玉県や市町村との連携強化などについて意見を交わしました。

特に、狂犬病予防対策については、世界中の人や物が行き交うグローバルな社会が進展する中で、人と動物の共通感染症への対応は益々、重要になってきており、とりわけ、世界の多くの地域で発生が続く狂犬病に対する予防対策は最優先課題であり、人への感染予防のために埼玉県獣医師会が埼玉県の指導のもと、市町村長との契約に基づき行政機関と連携して実施している集合狂犬病予防注射の徹底、並びに狂犬病に対する県民への啓発について、引き続きの支援を依頼しました。

また、公務員獣医師については、動物愛護、家畜衛生防疫、食品衛生などの行政分野の中核を担っており、その職責は重く、高い専門知識と技術、判断力が求められていることから、埼玉県庁に勤務する獣医師が、より一層責任と誇りを持って職務に専念できるように職員の処遇、特に、女性や若い獣医師職員に対して深い御理解をお願いしました。

会談の終わりに際し、高橋会長は、動物は、家庭動物や人の介助など様々な分野で活躍し、今や、私達のくらしにとってかけがえの無い存在になっており、人と動物が共存する豊かな社会を実現するために今後とも努力していきたいと締めくくりました。



情勢を報告する高橋三男埼玉県獣医師会会長
右は、上田清司埼玉県知事



上田清司埼玉県知事と知事執務室にて

右から、小暮一雄副会長、上田清司埼玉県知事、高橋三男会長、中村滋副会長、林繁雄理事

新入会員の抱負 埼玉県獣医師会に入会して

さいたま市支部 川上 太朗
(株式会社COWOX)



契約農場にて

2014年に埼玉県獣医師会に入会させていただいた株式会社COWOXの川上太朗と申します。COWは乳牛、OXは肉牛、つなげてCOWOXです。2000年に北里大学を卒業いたしまして、深谷市にある川田獣医科医院に就職しました。そこで同じく埼玉県獣医師会の会員である川田隆作先生より牛の診療、授精、大規模牧場の管理を10年間、ご指導いただき2011年2月に独立し株式会社COWOXを設立しました。とくに川田先生には大規模農場の管理のノウハウをご指導いただき、独立した後も大規模農場の仕事に携わることができました。

現在は獣医師4名にて約4万頭の牛に南は石垣島、北は北海道まで広範囲に携わらせていただいています。主に仕事の内容といたしましては、牛に対しての一般診療(主に

肺炎、乳房炎、第四胃変位、難産等)、授精業務、また、酪農、肥育の大規模農場に対しては生産管理、疾病予防、経営管理等のコンサルティングをさせていただいています。大規模農場の管理はCOWOXの特徴のひとつです。農場でのデータを解析し生産効率向上、コスト削減等の農場の利益につながる的確なアドバイスができるよう心がけています。

またTPP問題、円安による飼料高騰等で生産者にとってはきびしい時代になりつつあります。そこで、わが社では、体内受精卵、体外受精卵を作製、移植することにより効率的に付加価値の高い黒毛和牛、ホルスタイン雌を生産することで、生産者の経営をサポートしていこうと考えています。とくに、酪農家戸数減少により、酪農、肥育農家の基盤であるホルスタインが減少しています。そのため今後はさいたま市、川口市にある屠畜場より契約農場からホルスタインの卵巣をもらい受け、そこから、体外受精卵を安価でかつ効率的にホルスタインの雌牛生産に力を入れていきたいと考えています。

埼玉県獣医師会入会のきっかけは、埼玉県獣医師会北支部の大橋邦啓先生に埼玉県の産業動物獣医師が中心となって発足した農場管理獣医師協会に誘っていただき、そこで、高橋三男会長にお誘いいただき、埼玉県獣医師会に入会させていただきました。入会に際し、さいたま市支部には産業動物の獣医師が今までいなかったため、大変なご足労いただきましたが、さいたま市支部の皆様にはいろいろとご指導いただき大変感謝しております。

農場管理獣医師協会では引き続き生産者と消費者をつなぐ新たな獣医師の役割として、安心安全な畜産物の生産に協力していきたいと思っています。

2016年2月には開業して5年になります。我々は開業当初からダーウィンの進化論「強いものが生き残るわけではない。変化に強いものが生き残る」をモットーにしています。生産者のニーズにより早く対応し、世界に負けない強い日本の畜産を埼玉からサポートしていきたいと思っています。

埼玉にはほとんどいないため、なかなか獣医師会に参加できないことも多くありますが、これからも埼玉県獣医師会の一員として頑張っていきますのでよろしくお願いします。

北支部研修会及び八日会解散の集い開催報告

北支部長 大橋 邦啓
 学術委員 井 誠

去る8月2日(日)埼玉グランドホテル深谷において、北支部研修会および納涼会が開催されました。

研修会の部では北支部・八日会会員で今年学位を取得された大野秀樹先生と柿沼清市先生に博士論文に関する基調講演をしていただきました。柿沼先生には「牛白血病感染牛における臨床免疫学的研究—細胞性免疫低下が及ぼす他の疾病発生について—」、大野先生には「イヌの前十字靭帯断裂における Androgen の関与に関する研究」を発表いただきました。

引き続き行われた納涼会では「埼玉県八日会解散の集い」が開催されました。

八日会は獣医師の学術研鑽の場として、また行政はじめ関連業界を含めた親睦の場として、長きにわたり活動してきましたが、時代の変遷の中で一旦幕を閉じることとなり、本年総会で解散いたしました。

公益社団法人埼玉県獣医師会会長・高橋三男先生をはじめ来賓の方々からご祝辞を頂戴し、また会員による古き思い出話などに聞き入っている間に時間を惜しみつつ幕を閉じました。

当日は八日会が開催した過去の学術研修会の記録や会員執筆の八日会の思い出などを纏めて、一冊の葉を作成し参加者にお配りいたしました。

公益社団法人埼玉県獣医師会会員の皆様、また関係諸機関の皆様には大変長い間、八日会に多大なご支援ご鞭撻を賜り、感謝の念に堪えません。心よりお礼を申し上げます。

< 参加者内訳 >

出席者	北支部	東支部	団体支部
32名	27名	1名	4名



埼玉県八日会解散の集い

平成27年度関東・東京合同地区獣医師会 親善チャリティーゴルフ大会結果報告

(公社) 埼玉県獣医師会ゴルフ同好会会長
 さいたま市支部 小堺 正人

9月13日、横浜市獣医師会主催で盛大に開催された関東・東京合同地区獣医師大会・三学会の翌日14日に、神奈川県大磯町のレイクウッドゴルフ倶楽部・東コースにおいて、親善チャリティーゴルフ大会が100名の獣医師の参加で開催されました。

大会史上初めて日本獣医師会蔵内会長も参加され、大会は大いに盛り上がりました。

成績はグロス上位4名で争う団体成績は4位でしたが、個人の部では、西支部 岡田かおり先生が優勝する快挙を成し遂げました。さらに5位にさいたま市支部小堺正人先生、9位に北支部小島満先生が入賞しました。また、11位の蔵内会長特別賞を南第一支部の友成先生が受賞しました。その他、運よく飛び賞も北支部大野秀樹先生、東支部渋谷正志先生、高橋秀児先生が受賞しました。

また、この大会では参加費から1人1000円のチャリティーを設けており、今年は先日鬼怒川決壊により被災された茨城県獣医師会会員に井上亮一横浜市獣医師会会長から義援金として贈呈されました。

来年は川崎市獣医師会主催により東京読売カントリー倶楽部で開催される予定であることを川崎市獣医師会担当者の告知を以って解散となりました。

団体成績結果

優勝	千葉県獣医師会	317ストローク
準優勝	神奈川県獣医師会	321ストローク
第3位	東京都獣医師会	325ストローク
第4位	埼玉県獣医師会	334ストローク

埼玉県獣医師会グロス上位4名

豊泉正重先生(西支部)、友成公一先生(南第一支部)、
 田口修先生(東支部)、岡田かおり先生(西支部)



左から前列 高橋秀児先生(東支部)、大野秀樹先生(北支部)、
 岡田かおり先生(西支部)、田口修先生(東支部)、
 石井渉先生(さいたま市支部)、渋谷正志先生(東支部)
 後列 中村久江先生(団体支部)、増田淳先生(衛生支部)、
 山田和男先生(北支部)、小堺正人先生(さいたま市支部)、
 豊泉正重先生(西支部)、友成公一先生(南第一支部)

お知らせ

27日獣発第167号
平成27年9月18日

地方獣医師会会長 各位

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫
(公印及び契印の押印は省略)

第3回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム 「越境性感染症の現状と課題」の開催のご案内

日本獣医師会では、安全で安心な社会の構築に貢献するため、平成25年11月20日に日本医師会と学術協力推進のための協定書を締結し、医師会と獣医師会、医師と獣医師の緊密な連携の構築を推進しています。その具体的な取り組みとして、昨年10月に日比谷公会堂において「狂犬病の現状と課題」、本年2月に岡山で開催された獣医学術学会年次大会において「ダニが媒介する感染症の人への健康被害」と題するシンポジウムを両会の連携により開催したところです。

今般、第3回目の連携シンポジウムとして、下記のとおり、医師、獣医師、学生等を対象に「越境性感染症の現状と課題」と題するシンポジウムを開催することといたしましたので、貴会会員獣医師に周知の上、多くの方々に参加いただきますようご案内方よりお願いいたします。

なお、参加に当たっては事前参加登録(無料)をお願いしております。お手数でもとりまとめの上、別紙「事前参加登録申込書(団体用)」に必要事項をご記入いただき、本年10月26日(月)までに本会あてお送りいただきますよう、併せてよろしくお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時：平成27年11月6日(金) 10:00～12:30
- 2 開催場所：日本医師会館大講堂(東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館1F)
 - ・JR山手線「駒込駅」南口徒歩10分
 - ・東京メトロ南北線「駒込駅」徒歩10分
 - ・都営地下鉄三田線「千石駅」徒歩8分
- 3 講演内容：別紙のとおり

(事務局より)

本シンポジウムは、日本獣医師会が特別委員会を設置し、重点課題として推進している「医師会との連携推進」の一環として開催されるものです。

開業会員の先生方におかれましては、大変お忙しいこととは存じますが、勤務獣医師、動物看護師さんもお誘いあわせの上、積極的な参加をお願いします。また、勤務部会の先生方におかれましても、併せて御参加の程、宜しくをお願いします。

なお、参加を希望される方は事前登録が必要ですので、埼玉県獣医師会事務局まで電話等により御連絡ください。

電話 048-645-1906

FAX 048-648-1865

メール s-uma@vesta.ocn.ne.jp

第3回日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム 越境性感染症の現状と課題

1 日 時 : 平成27年11月6日(金) 10:00～12:30

2 場 所 : 日本医師会館大講堂(460名収容)
文京区本駒込2-28-16 日本医師会館1F
JR山手線「駒込駅」南口徒歩10分
東京メトロ南北線「駒込駅」徒歩10分
都営地下鉄三田線「千石駅」徒歩8分

3 主 催 : 公益社団法人日本医師会 公益社団法人日本獣医師会

4 後 援 : 厚生労働省 農林水産省 環境省 文部科学省 日本学術会議

5 挨拶 (10:00～10:10):
公益社団法人日本医師会 横倉義武会長
公益社団法人日本獣医師会 藏内勇夫会長

6 講 演 (10:10～12:30):

座 長: 森川 茂 国立感染症研究所獣医科学部長
丸山総一 日本大学生物資源科学部教授

(1) 10:10～10:30
基調講演「越境性感染症の現状と課題」(仮題)
公益社団法人日本医師会 小森 貴常任理事

(2) 10:30～11:10
「中東呼吸器症候群(MERS)の現状と対策」
国立感染症研究所第三部第四室 松山州徳室長

(3) 11:10～11:50
「獣医学領域からのSFTS(重症熱性血小板減少症候群)の解明」(仮題)
山口大学共同獣医学部獣医微生物学教室 前田 健教授

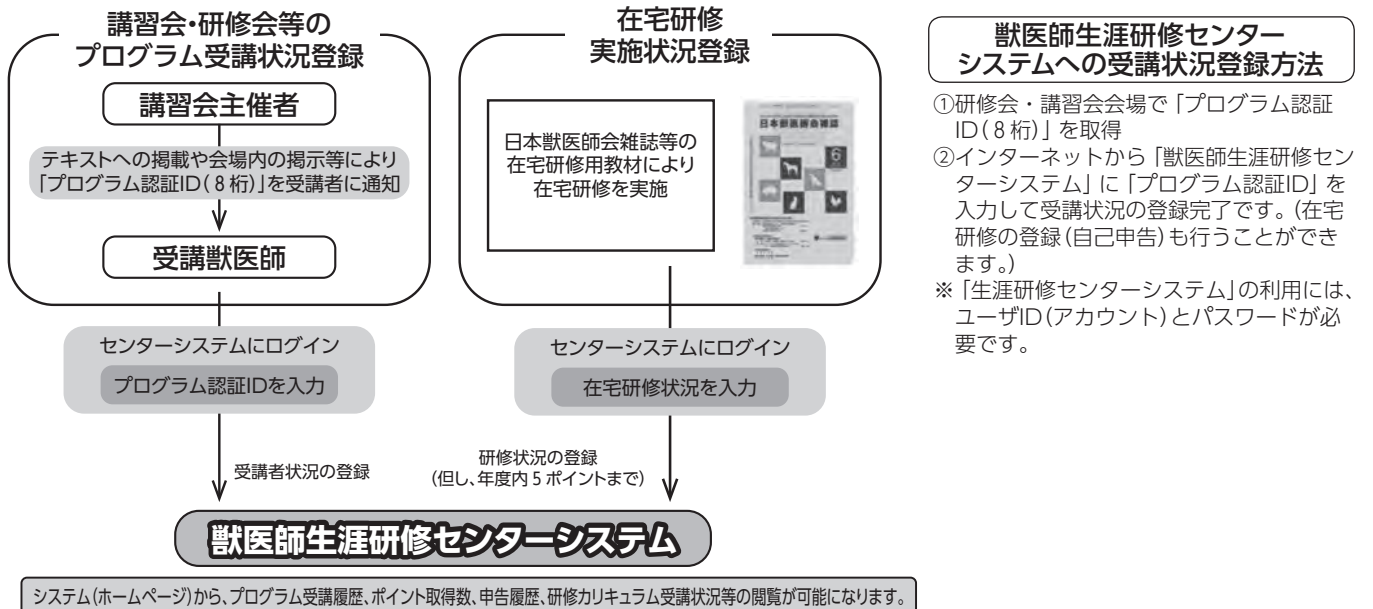
(4) 11:50～12:30
「エボラ出血熱の現状と対策」(仮題)
国立感染症研究所ウイルス第一部 西條政幸部長

獣医師生涯研修事業の申告方法が変わります

「ポイントシール貼付」から「インターネットでのプログラムID登録」へ

獣医師生涯研修センターシステムを利用した研修実施状況の登録

平成27年8月30日から実施されます。〈ポイントシールの配布は終了します。〉

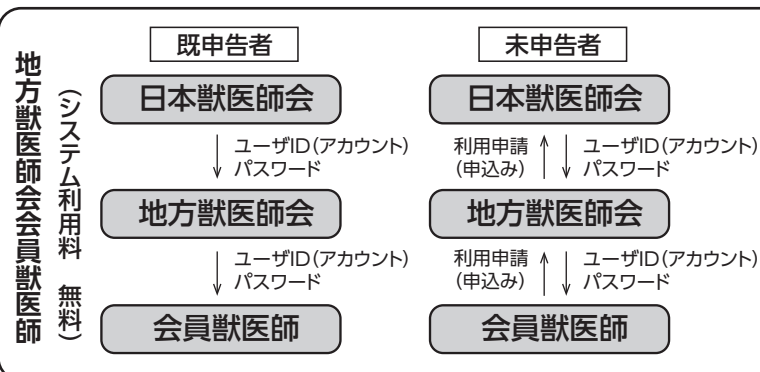


獣医師生涯研修センターシステムをご利用いただくには

〔既に獣医師生涯研修事業に参加(申告)したことがある地方獣医師会会員獣医師〕
ご所属の地方獣医師会から「ユーザID(アカウント)」と「パスワード」を受け取ってください。
システムご利用の料金は「無料」です。(申告には別途手数料が必要となります。)

〔これまで獣医師生涯研修事業に参加(申告)したことがない地方獣医師会会員獣医師〕
新たに「ユーザID(アカウント)」と「パスワード」の作成が必要となりますので、ご所属の地方獣医師会にお申し込みください。なお、作成までに少々お時間をいただきます。予めご了承ください。
システムご利用の料金は「無料」です。(申告には別途手数料が必要となります。)

獣医師生涯研修センターシステム利用のためのユーザID(アカウント)、パスワードの通知・申請



【獣医師生涯研修センターシステム】

<https://vcep.nichiju.or.jp/vcep/>

詳細は「日本獣医師会雑誌」9月号
(Vol.68.No.9 2015) 同封のリーフレットを参照して下さい。

日本獣医麻酔外科学会 関東地区講習会開催のお知らせ

日本獣医麻酔外科学会主催の標記講習会が、下記のとおり開催されます。今回の開催は、「胆嚢疾患を極める」と題して本会の宗像俊太郎先生(南第一支部)が実行委員長を務められます。多くの会員の参加をお願いします。

日 時 平成27年11月15日(日) 10:00~17:00
場 所 秋葉原 UDX GALLERY NEXT-2 東京都千代田区外神田四丁目14-1
参 加 費 学会会員、大学教員、学生 無料
獣医師会会員 3,000円
非会員 8,000円
(ハンドアウト代 4,000円)

参加申込 FAX または E-mail で2015年10月20日(火)までに申込み
FAX:048-460-5523 E-mail:kantomasuigeka@gmail.com

タイムスケジュール

10:00~11:00 胆嚢の解剖と生理 大石元治先生(日本獣医生命科学大学)
11:00~12:00 胆嚢疾患の診断と内科的治療 金本英之先生(東京大学)
13:00~14:00 胆嚢疾患の病理 賀川由美子先生(ノースラボ)
14:00~15:00 腹腔鏡下胆嚢摘出術 江原郁也先生(ルカ動物医療センター)
15:30~16:30 胆嚢疾患に対する外科的治療 浅野和之先生(日本大学)
16:30~17:00 総合討論

主 催 日本獣医麻酔外科学会
後 援 公益社団法人埼玉県獣医師会
問 合 せ 先 あさか台動物病院
TEL:048-460-5522 kantomasuigeka@gmail.com

広告

公益社団法人日本獣医師会 獣医師福祉共済事業

獣医師の皆さまとご家族に
大きな安心を!!



獣医師の皆さまを取り巻く様々なリスクの備えに

「獣医師会のほけん」

病気やケガに備える

所得補償保険

団体長期障害
所得補償保険

新・団体医療保険*

傷害総合保険

動物病院従業員補償
傷害総合保険

*医療保険基本特約、疾病保険特約、傷害保険特約、がん保険特約セット団体総合保険

動物病院の「什器・備品・医療機器」「現金・有価証券等」の損害に備える

動物病院「什器・備品・医療機器」総合補償
(ショップオーナーズ保険)

動物病院「現金・有価証券等」総合補償
(コーポレートマネーガード保険)

保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

問い合わせ先

幹事代理店 株式会社安田システムサービス

〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1新宿エルタワー29F
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

団体・公務開発部第二課
〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3
TEL:03-3593-6453 FAX:03-3593-6751
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)

「損害保険ジャパン日本興亜株式会社」は、損保ジャパンと日本興亜損保が2014年9月1日に合併して誕生した会社です。

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は
下記幹事代理店までご請求ください。
なお、携帯電話からもご請求いただけます。
下のQRコードからアクセスしてください。



SJNK14-13868 (2014.12.29)



彩の国さいたま
埼玉県

彩の国さいたま

動物愛護フェスティバル 2015

主催：埼玉県 共催：深谷狂犬病予防協会 後援：公益社団法人 埼玉県獣医師会

動物愛護週間記念事業



埼玉県のマスコット コバトン

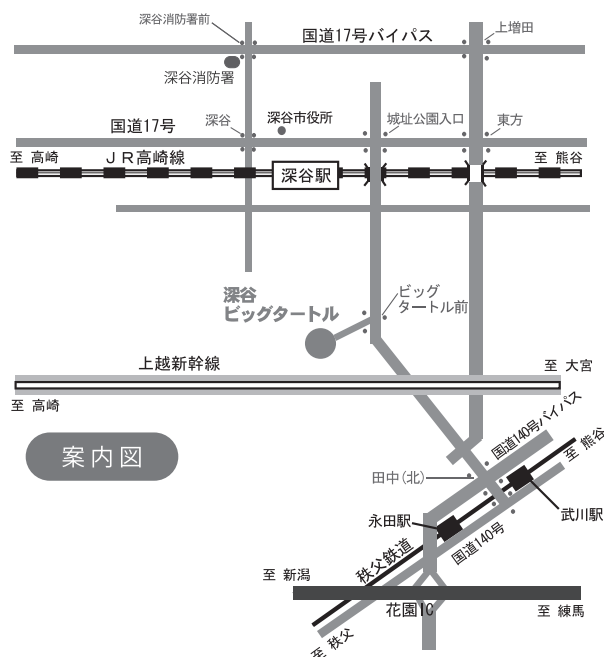
みんなで
きてね！



深谷市のマスコット ふっかちゃん

- 記念式典、動物愛護功労者表彰式 (10/24)
- 長寿犬・長寿猫 飼育者感謝状贈呈式 (10/24)
- 聴導犬のお話とデモンストレーション
- ドッグダンス
 - 獣医さんのお仕事体験コーナー
 - ペット動物の飼育相談
 - 「ペット動物の防災」コーナー
 - 動物クイズ
 - マジックバルーン、動物折り紙
 - パネル展示

など



案内図

平成 27 年

10月 24 日 (土)
25 日 (日)

午前 10 時 ~ 午後 3 時

深谷市福祉健康まつり会場内

(深谷市総合体育館 深谷ビッグタートル南側)

お問い合わせ

埼玉県動物指導センター 048 (536) 2465

切り抜きニュース

危険な病原体 扱い可能に BSL4、エボラきっかけ

死亡率が高く危険な病原体を扱うことができる実験施設が国内で初めて使われることになった。BSL（バイオセーフティーレベル）4という施設で、専門家は以前から、感染症対策に必要と強調してきた。西アフリカでのエボラ出血熱流行で、国内へのウイルス侵入の懸念が強まり、施設稼働を後押しした形だ。だが主に検査などでの利用が想定されており、病気の仕組み解明やワクチン開発などの研究のため、新たな施設の建設を模索する動きもある。

外に漏らさず

BSLは、引き起こす病気の重篤さや治療法の有無による病原体の分類。1～4の4段階で、4が最も高い。1は人に無害な病原体やワクチン、2は季節性インフルエンザやはしかウイルス、3は中東呼吸器症候群（MERS）コロナウイルス、4はエボラ熱やラッサ熱、マールブルグ熱の原因ウイルスなどだ。

病原体はレベルに合った施設で扱わなければならない。国立感染症研究所の村山庁舎（東京都武蔵村山市）に1981年、BSL4の施設が設置された。どんな施設か。

世界保健機関（WHO）の基準に沿い、ウイルスやウイルス感染させた動物は、外部に病原体を漏らさない装置の中で扱う。装置内の空気は特別なフィルターを通してから排出。水は高温の蒸気や薬で処理してから排出される。装置がある部屋は内壁と外壁の二重構造で、外よりも気圧が低く外部へ空気が流れ出ない構造。

同研究所は、「震度6強～7程度にも耐えられる耐震性があり、倒壊によりウイルスが外部に漏れることはない」とする。

検出後、使えず

設置当初、地元への説明が十分でなく、周辺には学校や住宅地もあり、武蔵村山市は実験をしないよう要望。厚生労働省は感染症法に基づく

BSL4施設には指定せず、1段階下のBSL3施設として運用してきた。

2014年以降、西アフリカでエボラ熱が流行し、感染した疑いがある人が日本に入国するケースが起きた。村山庁舎は、感染の有無を調べる血液検査を担当した。これはBSL3でもできる。ではウイルスが検出されたらどうなるか。それ以後は、血液からウイルスを取り出して保管したり、遺伝子の特徴を調べたりする分析はできない。

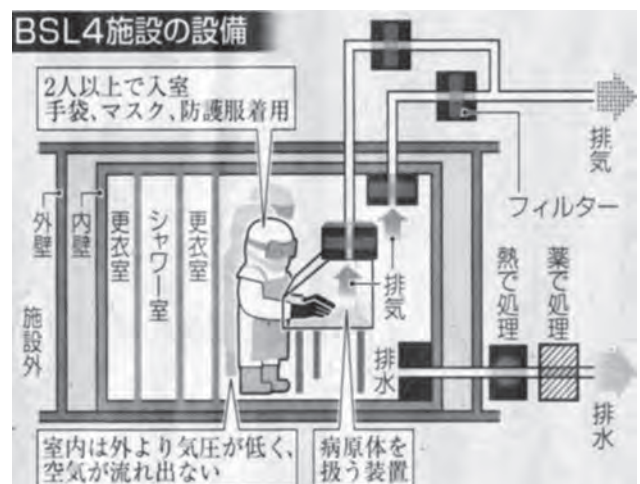
こうした状況を受け、厚労省はBSL4施設を「感染症対策に必須の施設」と位置付け、地元と話し合いを重ね、8月に武蔵村山市と施設稼働で合意した。テロ対策のため、警備員常駐や監視カメラ設置などの対策も取る。

研究、人材育成

ただ武蔵村山市との合意では「感染者の生命を守るのに必要な診断や治療に関わる業務に特化して施設を使用する」が条件となった。研究者の裁量で自由に使えるわけではない。

現代は、航空機などによる交通網が発達し、どこかで発生した感染症は、あっという間に世界に広がる恐れがある。

そうした中、長崎大はBSL4施設設置を目指し地元と協議している。長崎大熱帯医学研究所の安田二郎教授は「施設に求められるのは診断だけでなく、ワクチンや治療法の開発、病気の仕組みの解明、人材育成など多岐にわたる。成果をあげるには複数の施設で研究を進める必要がある」と話す。



搾乳ロボ 8 台 ハイテク牛舎 北海道・江別で稼働

最新鋭の搾乳ロボット 8 台を導入した「ハイテク牛舎」が、北海道江別市で 9 月から動き出している。約 500 頭の搾乳を、24 時間自動化した。1 カ所の設置規模では国内最多という。

首輪につけたセンサーで乳牛を個別に管理。乳牛がロボットに近づくと、搾乳に適した状態かどうかを見分け、ゲートが開く。カメラ付きセンサーが乳頭の位置を探知して、ロボットアームに取り付けた機械が搾乳する。乳量や乳質のデータも一元管理できる。

ロボットはスウェーデン製で 1 台約 2500 万円。運営する「Kalm 角山^{カーム}」は、3 年後に年間 5600 トンの生乳生産をめざす。川口谷仁専務(43)は環太平洋経済連携協定(TPP)もにらみ、「酪農の事業化と生乳の高品質化、これが我が社の行く道」と話す。
(加賀元)



搾乳ロボットでの搾乳を終えて、移動する乳牛＝北海道江別市、山本裕之撮影

朝日新聞 9 月 8 日

補助犬 障害者に同伴 理解を

障害者の生活を支える補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)について「理解を深め、障害者が行動しやすい社会になってほしい」と投書が届いた。飲食店などで補助犬の同伴拒否が後を絶たず、補助犬の働きや 2002 年に施行された身体障害者補助犬

法への理解を広める必要がある。

厚生労働省によると、補助犬は 9 月 1 日現在、全国で 1118 頭が働いている。盲導犬 984 頭、物の拾い上げや着脱衣を手伝う介助犬 74 頭、玄関のチャイムなど音を知らせる聴導犬 60 頭。補助犬法では、公共施設や交通機関、飲食店、ホテル、商業施設などで、やむを得ない場合を除き補助犬の同伴を拒否してはならないと定めている。だが、補助犬の育成、貸し出しをしている公益財団法人「日本補助犬協会」(横浜市)によると、「補助犬は徐々に増えているものの、多くの人は日常的に接することがあまりないこともあり、法への理解もなかなか進んでいない」(朴善子代表理事)。

同協会職員の安杖直人さん(45)は介助犬利用者の一人＝写真＝。14 年前に交通事故に遭い、車いす生活を送っている。介助犬「ダンテ」は大事なパートナーで、大きな安心につながっているが、飲食店などで「他のお客さんが気にする」といった理由で同伴を断られることが多いという。

同協会には毎月 20 件ほど相談が寄せられ、「受け入れを断りたい」という飲食店などからの相談も。協会では法の趣旨を説明し、理解を求めている。街頭啓発や企業向けセミナーにも力を入れ、朴代表理事は「まず補助犬の存在を知ってもらいたい」と話す。

日本身体障害者補助犬学会の高柳友子理事は「障害者の社会参加のため、補助犬が欠かせないということが広く知られてこそ意味のある法律だ。行政も一層啓発に取り組む必要がある」と指摘している。
(世論調査部 益田耕平)



読売新聞 9 月 13 日

平成27年度埼玉県獣医師会学術広報版

(平成27年 9月20日現在)

年 月 日	産 業 動 物	小 動 物	公 衆 衛 生
4 月			
5 月			
6 月14日(日)		北支部 「麻酔モニタリングを読む」 山口大学 井芹 俊恵 先生 (熊谷市 熊谷市立商工会館)	
6 月14日(日)		東支部 「とにかく尿検査、尿検査、尿検査！ 腎性蛋白尿を軽んじてはならない！」 日本獣医生命科学大学 竹村 直行 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
6 月19日(金) ～21日(日)	第90回日本獣医麻酔外科学会／第102回日本獣医循環器学会／第57回日本獣医画像診断学会 2015春季合同学会 (さいたま市 大宮ソニックシティ)		
7 月 5 日(日)		東支部 「皮膚科診療でペットオーナーの心をつかむ ～継続診療につながるインフォームド・コ ンセントをしていますか～」 犬と猫の皮膚科 村山 信雄 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
7 月19日(日)		南第一支部・南第二支部 「動画から学ぶ！犬および猫の下部呼吸器 疾患について」 日本獣医生命科学大学 藤田 道郎 先生 (さいたま市 埼玉会館)	
8 月			
9 月13日(日)	平成27年度 関東・東京合同地区獣医師大会 (横浜) 獣医学術関東・東京合同地区学会 (神奈川県横浜市 パシフィコ横浜)		
10月 4 日(日)		北支部 「こんな心電図に要注意！～症例から見る 心電図の読み方～」 麻布大学 藤井 洋子 先生 (熊谷市 熊谷文化創造館さくらめいと)	
10月16日(金)	北支部 「子牛の免疫についてⅡ (離 乳～育成期)」 酪農学園大学 大塚 浩通 先生 (熊谷市 熊谷家畜保健衛生所)		
11月 3 日 (火・祝)		南第一支部・南第二支部 「難治性の下痢・嘔吐の診断・治療・予後 (1)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川口市 川口総合文化センター)	
11月 8 日(日)		東支部 「肝・胆・脾の診断と治療」 日本大学 坂井 学 先生 (越谷市 越谷サンシティ)	
11月29日(日)		西支部 「下痢・嘔吐の診療 (前半 下痢の診療)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川越市 川越南文化会館)	
12月	農林支部 平成27年度埼玉県家畜保健衛 生業績発表会		
平成28年 1 月17日(日)		さいたま市支部 「演題：未定」 講師 未定 (場所 未定)	
1 月24日(日)		西支部 「下痢・嘔吐の診療 (後半 嘔吐の診療)」 日本小動物医療センター 中島 亘 先生 (川越市 川越南文化会館)	
2 月	農林支部 関東甲信越家保業績発表会		衛生支部 健康福祉研究発表会 食肉衛生技術研修会
2 月26日(金) ～28日(日)	平成27年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会 (秋田) (秋田キャッスルホテル、秋田アトリオン、にぎわい交流館 AU)		
3 月 6 日(日)		西支部 「(仮) 病理組織診断を最大限生かす為に」 病理組織診断 CAPITAL 代表 石原 勇介先生 (川越市 川越南文化会館)	

事務局メモ

ホームページ会員専用ページ 入室は URL <http://www.saitama-vmc.org/>
ID: SVMA (半角・大文字) パスワード: MITSUO (半角・大文字)

9月4日	畜産フェア2015(仮称)実行委員会(さいたま市 プリムローズ有朋)	11月3日	南第一支部・南第二支部合同学術講習会(川口市 川口総合文化センター)
9月4日	平成27年度第1回畜産懇話会(さいたま市 プリムローズ有朋)	11月6日	日本医師会・日本獣医師会合同シンポジウム(東京都文京区 日本医師会館)
9月10日	日本獣医師会 第4回理事会(東京都港区 明治記念館)	11月8日	東支部学術講習会(越谷市 越谷シティ)
9月13日	平成27年度関東・東京合同地区獣医師大会(横浜)、獣医学術関東・東京合同地区学会(神奈川県横浜市 パシフィコ横浜)	11月28日	畜産フェア2015(熊谷市 埼玉県農業大学校)
10月2日	日本獣医師会全国獣医師会会長会議(東京都港区 明治記念館)	11月29日	西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館)
10月3日	日本獣医師会主催2015動物感謝デーin JAPAN(東京都世田谷区 都立駒場オリンピック公園)	12月11日	(予定)日本獣医師会 第5回理事会(東京都港区 日本獣医師会)
10月4日	北支部学術講習会(熊谷市 さくらめいと)	平成28年	
10月8日	第2回獣医事調査委員会(さいたま市 埼玉農業共済会館)	1月17日	さいたま市支部学術講習会(場所 未定)
10月16日	北支部・しゃくなげ埼玉県支部合同学術研修会(熊谷市 埼玉県熊谷家畜保健衛生所)	1月24日	西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館)
10月22日	第4回理事会(さいたま市 大宮ラフォーレ清水園)	2月7日	関東・東京合同地区獣医師会理事会(横浜市 ホテルニューグランド横浜)
10月23日	第59回埼玉県公衆衛生大会(さいたま市 さいたま共済会館)	2月11日	(予定)埼玉県獣医師会ボウリング大会(さいたま市 スポーツ浦和国際ボウル)
10月24日	彩の国さいたま動物愛護フェスティバル2015(深谷市 深谷市総合体育館)	2月26日～28日	平成27年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会(秋田)(秋田県秋田市 秋田キャッスルホテルほか)
		3月6日	西支部学術講習会(川越市 川越南文化会館)

編集後記

“涼しい”という言葉のを忘れさせたかのような、あんなに暑かった夏が終わった。今は嘘の様だ。そして、自然の力の凄さはそれだけではなかった。

北関東地方を襲った大雨と台風だ。被害に遭われた方々には心からお見舞い申し上げます。TVからは刻々と濁流に流されながら自衛隊などに救助されている人々の姿があり、犬まで救助されホッとした。

9月13日の関東・東京地区獣医師大会では、担当である横浜市獣医師会の取りまとめにより、関東各獣医師会からの拠出で被災された茨城県の会員に対して義援金を贈ることとなった。大会中に小林茨城県獣医師会長から、込み上げる思いを抑えながら各獣医師会の支援に対し御礼の言葉があった。

我が県でも越谷市の会員に床上浸水の被害に遭われた先生がおられ、お見舞金が県獣医師会と支部からも贈られた。

17日の夜、医療関連政治団体での自見はな子さんの激励会に県獣政治連盟の役員も出席した。高橋理事長は挨拶の中で埼玉県でも医師会と獣医師会が昨年連携を結んだ事と自衛隊員が犬を救助し人と動物の密接な関係について説明して喝采を浴びた。

また、3日には高橋会長以下数名で上田知事を表敬訪問したが、知事には大変気軽に我々を迎え入れていただき、足に傷を負っての選挙運動だった事などを話され予定時間をオーバーしての意義ある時間だった。

先日の新聞に「搾乳ロボ8台ハイテク牛舎」という見出しで、北海道の江別の農場では全自動で24時間稼働しているというのだ。耳を疑った。搾乳牛は人が変わると乳量が落ちるので酪農家は他人に搾乳させなかった記憶が残っている。30年以上前になるが、まだ近隣市町村に酪農家が沢山あったころ結核やブルセラ検査で出動した。ストレスで乳量が減ったと言われないように細心の注意を払って採血したものだ。

スウェーデン製で1台2千5百万円するという。ロボットは製造業分野から始まって様々な分野で活躍しているが、まさか搾乳までロボットになるとは。乳房炎なども考慮しているのだろうが、採算は合うのだろうか？見守りたい。

13日に開催された関東連の大会で、小動物臨床部門からどうぶつの総合病院の金野敏明先生が、演題“腹腔内に多発する異所性脾腫を認めた犬の一例”で学術奨励賞を受けられた。おめでとうございます。今後とも頑張ってください。

36年間続いた厚生委員会主催のソフトボール大会が先の北関東の台風と大雨の影響で大変残念な事です中止になりました。吉見町の総合グラウンドがソフトボール会場も含め土砂が流れ込み重機での整備が必要で、少なくとも今年中は使用不能という事でした。各チーム共に27日に向けて準備をしていたと思います。あちこち心当たりを探してみましたが、この時期は何処のグラウンドも予約済みで今年の開催は無理でした。来年を期待して一年間頑張りましょう。

厚生委員会では毎年ボウリング大会を開催しております。スポーツ浦和国際ボウリング場で来年2月11日の予定です。ソフトボールに代わってボウリングで汗を流しましょう。

もう一つ残念な事があります。八日会の解散です。北支部地区の産業動物診療の礎を築いて来られた会です。時の流れで仕方ありません。対象動物が小動物に変わる中、北支部の産業動物は農場管理獣医師協会がしっかり頑張っておられます。今後は八日会の思いを二つの会に受け継いで頑張りたい。

秋は日本獣医師会主催の動物感謝デー in Japan、彩の国埼玉動物愛護フェスティバルや各地で動物に関係するイベントが予定されており積極的に参加しましょう。

(不動)



日本獣医師会・獣医師会活動指針

－ 動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。－

- 1 地球的課題としての食料・環境問題に対処する上で、生態系の保全とともに、感染症の防御、食料の安定供給などの課題解決に向け、「人と動物の健康は一つと捉え、これが地球環境の保全に、また、安全・安心な社会の実現につながる。」との考え方（One World-One Health）が提唱され、「人と動物が共存して生きる社会」を目指すことが求められている。
- 2 一方、動物が果たす役割は、食料供給源としてのほか、イヌやネコなどの家庭動物が「家族の一員・生活の伴侶」として国民生活に浸透するとともに、動物が人の医療・介護・福祉や学校教育分野に進出し、また、生物多様性保全における野生動物の存在など、その担うべき社会的役割は重みを増すとともに、一層多様化してきている。
- 3 他方、国民生活の安全・安心や社会・経済の発展を期する上で、食の安全性の確保や口蹄疫、トリインフルエンザ、狂犬病等に代表される新興・再興感染症に対する備えとともに、家庭動物の飼育が国民生活に普及する中で動物の福祉に配慮した適正飼育の推進が、更には、地球環境問題としての生物多様性の保全や野生鳥獣被害対策を推進する上での野生動物保護管理に対する関心が高まってきている。
- 4 我々、獣医師は、「日本獣医師会・獣医師倫理綱領－獣医師の誓い－95年宣言」が規定する専門職職業倫理の理念の下で、動物に関する保健衛生の向上と獣医学術の振興・普及を図ること等を通じ、食の安全性の確保、感染症の防御、動物疾病の診断・治療、更には、野生動物保護管理や動物福祉の増進に寄与するとの責務を担っている。
- 5 獣医師会は、高度専門職業人としての獣医師が組織する公益団体として、獣医師及び獣医療に対する社会的要請を踏まえ、国民生活の安全保障、動物関連産業界の発展による社会経済の安定、更には、地球環境の保全に寄与することを目的に、「動物と人の健康は一つ。そして、それは地球の願い。」を活動の理念として、国民及び地域社会の理解と信頼の下で、獣医師会活動を推進する。

【参 考】

「One World-One Health」とは、動物と人及びそれを取り巻く環境（生態系）は、相互につながっていると包括的に捉え、獣医療をはじめ関係する学術分野が「ひとつの健康」の概念を共有して課題解決に当たるべきとの考え。2004年に野生生物保全協会（WSC）が提唱した。また、国際獣疫事務局（OIE）は、2009年に「より安全な世界のための獣医学教育の新展開」に関する勧告において、動物の健康、人の健康は一つであり生態系の健全性の確保につながるとする新たな理念として「One World-One Health」を実行すべきである旨を提唱している。

動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

代表取締役 高野恵一

URL : www.zenoaq.jp

胃腸と皮膚が気になる小型犬のための総合栄養食

Dr. CREDO No.1
ドクタークレド

- 食物アレルギーの原因となりにくい米と鶏肉を使用
- 優れた栄養バランスで皮膚・被毛の健康をサポート
- 健康的な腸内環境を保ち抵抗力を維持
- 抗酸化成分配合で毎日の健康を維持

本製品は小型成犬の健康維持をサポートするフードです。

『ドクタークレド』は、人の食品と同等基準の品質と安全性に、美味しさをプラスした動物病院専用フードです。
タイの世界的食品メーカー「ベタグロ社」の GMP・HACCP・ISO の認定を受けた工場で製造しています。



① 森久保薬品株式会社

神奈川県厚木市栄町1-8-17 TEL: 046-222-2333
東京: 042-564-2381 埼玉: 04-2968-0881 三重: 046-948-2112 神奈川: 046-221-0620
ソウパ: 02-56-43-1661 山梨: 055-224-5278 群馬: 027-230-4322 栃木: 028-668-3999
茨城: 029-241-3131 鹿嶋: 0476-40-5811 茂原: 0475-24-1613